

第2期

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(総合計画前期基本計画リーディングプロジェクト)

令和6(2024)年度評価報告書

令和8年3月
秦野市
行政財政調査会

1. はじめに	2
2. 第2期総合戦略の構成	4
3. 評価の方法	7
4. 具体的施策の評価	9
基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト	9
基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト	18
基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト	25
基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト	33
基本目標5 新たな日常創造プロジェクト	40
横断プロジェクト 移住・定住活性化	45
5. 外部評価の総括	48

1. はじめに

2. 第2期総合戦略の構成

3. 評価の方法

4. 具体的施策の評価

- 基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト
- 基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト
- 基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト
- 基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト
- 基本目標5 新たな日常創造プロジェクト
- 横断プロジェクト 移住・定住活性化

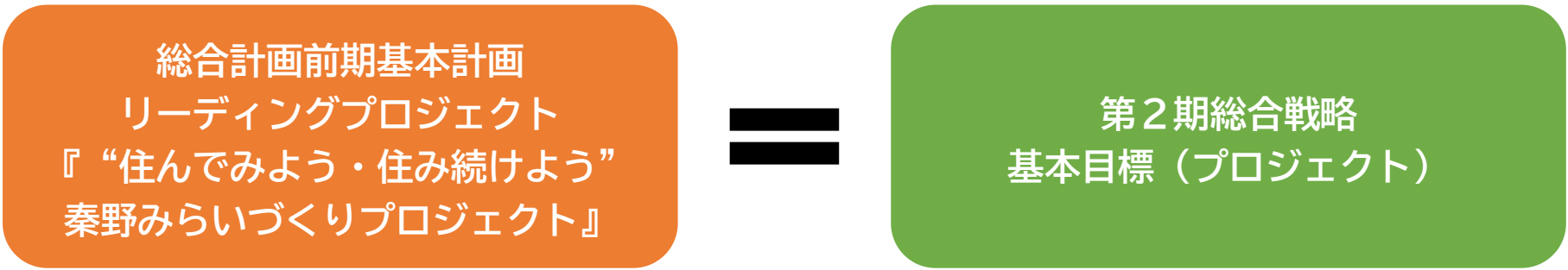
5. 外部評価の総括

1. はじめに

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の人口ビジョン及び総合戦略を勘案し、「秦野市人口ビジョン(令和3年3月改定)」で示した将来展望や目指すべき方向性の実現に向け、重点的に取り組むプロジェクトをまとめたものである。

第2期秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第2期総合戦略」という。)では、秦野市総合計画はだの2030プラン前期基本計画(以下「総合計画前期基本計画」という。)のリーディングプロジェクトを基本目標に位置づけ、総合計画前期基本計画と一体的に取り組むことにより、地域資源を生かした活力あるまちづくりを目指している。

また、計画期間についても、総合計画前期基本計画との整合を図るため同一の期間とし、令和3年度から令和7年度までの5年間としているものである。



この総合戦略については、国からの要請に基づき、内部における進行管理の妥当性、客観性を担保するため、平成29年度から秦野市行財政調査会による外部評価を取り入れている。外部評価に当たっては、総合計画前期基本計画において、リーディングプロジェクトとして位置づけた5つのプロジェクトと1つの横断プロジェクトを、第2期総合戦略の基本目標としていることから、第2期総合戦略と総合計画前期基本計画を同時に評価したものである。

1. はじめに

2. 第2期総合戦略の構成

3. 評価の方法

4. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

5. 外部評価の総括

2. 第2期総合戦略の構成

地域資源を生かした活力あるまちづくりを推進するための施策として基本目標を定め、基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向とその評価指標を設定しているものである。

1 基本目標(プロジェクト)

国の第2期総合戦略が定める政策分野を勘案して、市の第2期総合戦略における政策分野を定め、5年後の基本目標(実現すべき成果に係る数値目標KGI※1)を設定しているもの。

2 講ずべき施策に関する基本的方向

基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向を示しているもの。

3 具体的な施策と客観的な指標

基本的方向に沿って、具体的な施策を記載するとともに、各施策の効果を客観的に検証できるようにするため、重要業績評価指標(KPI※2)を設定しているもの。

※1 KGI:Key Goal Indicatorの略称。目標を達成するための指標。

※2 KPI:Key Performance Indicatorの略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

2. 第2期総合戦略の構成

基本目標1
健康で安心して暮らせるプロジェクト

- 水とみどりを育む取組みの推進
- 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進
- 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進
- 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

基本目標2
未来を拓く子育て・教育プロジェクト

- 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進
- 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進
- 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進
- 市民総ぐるみによる学校給食の推進

基本目標3
小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

- 温泉を生かしたにぎわい創造の推進
- 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進
- 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進
- 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進

基本目標4
新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

- 表丹沢魅力づくり構想の推進
- 地域特性を生かした企業誘致の推進
- 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進
- 国道246号バイパス(厚木秦野道路)早期全線事業化・整備の促進

基本目標5
新たな日常創造プロジェクト

- 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進
- デジタル化の推進

横断プロジェクト
移住・定住活性化

1. はじめに

2. 第2期総合戦略の構成

3. 評価の方法

4. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

5. 外部評価の総括



3. 評価の方法

1 達成状況について

市では、各部局において、総合戦略の重要業績評価指標(KPI)単位の達成状況を評価したうえで、基本目標単位の達成状況を総括している。

なお、達成状況の総括は、KPI単位の評価を基準として、右表の区分に応じたものとしている。

【達成状況(KPI単位)の区分】

区分	評価の考え方
A	数値目標の達成率が100%以上
B	数値目標の達成率が75%以上100%未満
C	数値目標の達成率が50%以上75%未満
D	数値目標の達成率が50%未満

【達成状況(基本目標単位)の総括の区分】

区分	評価の考え方
順調に進んでいる	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価の割合が100%
概ね順調に進んでいる	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が75%以上
やや遅れている	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が50%以上75%未満
遅れている	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が50%未満

2 外部評価について

基本目標ごとに、市の達成状況の総括の内容が妥当であるか否かの評価を行った。

- 1. はじめに
- 2. 第2期総合戦略の構成
- 3. 評価の方法

4. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

- 5. 外部評価の総括



秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 監視基準井戸の地下水位	121.8m	▶	121.6m
.....			
■ 平均自立期間 (日常生活動作が自立している期間の平均・暦年)	男性 83.12歳(R2) 女性 85.79歳(R2)	▶	男性 83.92歳 女性 86.28歳
.....			
■ 秦野警察署管内刑法犯認知件数(年間)	650件	▶	620件

基本目標 1 健康で安心して暮らせるプロジェクト | 水とみどりを育む取組みの推進

市民共有の財産である水とみどりを守り育て、生かすことにより、恵まれた自然環境と共生した秦野らしさのあるまちづくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **やや遅れています。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
水源の森林エリアにおける森林整備(奥山を除く)面積	標高が概ね300メートルを超える水源エリアでの適正な森林管理を促進する	26.97ha	47.79ha	49.19ha	100.00ha	49.2%	D	- 森林所有者と締結した「協力協約」に基づく森林整備 - 水源の森林づくり事業による補助(秦野市森林組合)	- 当初整備を予定していた森林所有者が積極的な整備を行わず、木を育てて木材の付加価値を高めることとしたため。 - 森林組合の施業計画により県整備事業への移行や標高300メートル以下の里山林整備を推進したため。 - 水源の森林づくり事業は、森林所有者や森林組合が実施主体であるため、その事業の成果をKPIに設定し、市による森林整備の取組を評価することは困難になっている。この課題の解消に向けて、次期総合戦略では、市の取組の成果を適切に測ることができる指標の設定を検討する。	125ha
くずはの家における自主事業の実施回数	生物多様性、自然環境の現状について学び、その保全・活用に対する意識の向上を目指す機会として自主事業を実施する	82回	103回	104回	86回	120.9%	A	- くずはの家を中心とした自然観察会の実施 - 自然保護及び緑化の推進に関する普及啓発 - 自然観察指導員の養成講座の実施	—	88回

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
秦野市の二酸化 炭素排出量	秦野市地球温暖 化対策実行計画 において掲げた 目標値(2013 年度比・2030 年度46%削減) を目指す	768千トン (H30実績)	641千トン (R4実績)	657千トン (R5実績)	707千トン	107.6%	A	・ 効果定量型省エネ教育プロ グラムを市内3小学校の実 施 ・ 公共施設13施設に電気自 動車用普通充電設備の設 置 ・ 脱炭素に関する情報を集 約するポータルサイト「はだ のde脱炭素」の開設 ※ 削減目標であるため、達 成率を(B)／(A)で算出	—	720千トン
植樹祭、下草刈、 県民参加の森林 づくりなど森林 整備事業への市 民参加数	市民主体の植 樹・育樹等を通 じた市民による 森林づくりを推 進する	937人	562人	725人	1,150人	63.0%	C	・ 頭高山、平沢地内での植樹 の実施 ・ 表丹沢野外活動センター活 動棟裏、頭高山の下草刈り の実施 ・ 大根小学校・広畑小学校合 同での桜の植樹	・ 植樹、育樹は森林内で行 われており、駐車場等が整 備されているわけではな く、その都度地形に合わせ た人数を募集しているた め。	1,150人
秦野名水ロゴ マークの使用件 数(累計) ※1_R6.3目標値変更	「秦野名水」の効 果的な普及啓発 を図る	87件	160件	169件	171件	98.8%	B	・ ホームページ等での周知	—	181件
市民一人1日当 たりのごみの排 出量(資源物を除 く) ※2_R5.3指標追加	持続可能な循環 型社会に向けて 再使用、資源化 を促進すると ともに、市民生活 や事業活動から 排出されるごみ の抑制を目指す	613g	576g	570g	600g	105.3%	A	・ ごみ減量、資源化及び分別 ルールの周知・啓発 ・ 生ごみ・食品ロス減量の推 進として、JAはだの女性部 と協定を締結し、行政提案 型協働事業として食品ロス 対策について講演会の実 施 ※3 削減目標であるため、 達成率を(B)／(A)で算出	—	595g

※1 R4実績が目標を大きく上回ったことにより、R5以降目標値を再設定。【R5目標値】130件⇒161件、【R6目標値】145件⇒171件、【R7目標値】160件⇒181件

基本目標 1 健康で安心して暮らせるプロジェクト | 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進

人生100年時代を心身共に健康で安心して暮らせるよう、地域医療の充実・強化を図りながら健康長寿に向けた取組を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ 概ね順調に進んでいます。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
未病センター健康相談会における利用者数	身近な場所で自身の健康状態を把握し、その結果に基づき健康づくりをする人を増やす	182人	176人	219人	250人	87.6%	B	・ 骨密度とヘモグロビン濃度測定の実施 ・ 未病改善セミナーの実施	—	260人
特定健康検査の受診率及び特定保健指導の利用率	特定検診、特定保健指導の受診率及び利用率の向上による健康長寿に向けた取組を推進する	33.6% 14.4%	36.3% 15.1%	35.5% 16.5%	40.0% 26.0%	88.8% 63.5%	B	・ 未受診者の特性に応じた受診勧奨の実施 ・ 各種イベント等での啓発活動の実施 ・ 市広報特集号による周知 ・ 未利用者に対する利用勧奨通知の送付や専門職による電話勧奨の実施	—	40.0% 26.0%
「週1回30分以上スポーツ・レクリエーション活動する市民」の割合	各種スポーツ大会の企画・実施を通じた生涯スポーツ活動の普及促進を図る	42.9%	39.8%	62.0%	64.6%	104.2%	A	・ 多様なスポーツイベントの実施 ・ 市広報特集号による周知 ・ 指定管理者と連携した魅力ある施設運営	—	65.0%
市内の就業看護職員数	医師会との情報共有や支援等を通じて市内で就業する看護職人材を確保する	1,516人	1,512人 (R4実績)	1,512人 (R4実績)	1,600人	94.5%	B	・ 看護師修学等資金貸与制度の周知	—	1,650人

基本目標 1 健康で安心して暮らせるプロジェクト | 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進

誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らせるよう、地域における人と人のつながりを大切にし、互いに助けあい、共に支えあうまちづくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **概ね順調に進んでいます。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
地域共生社会の実現に向けた福祉研修の実施回数 (年間)	地域住民相互の 支えあいによる 共助の取組の活 性化等を通じた 「地域共生社会」 の実現を目指す	— ※	3回	3回	2回	150.0%	A	・ 複合的な地域生活課題の解決に向けた研修の開催 ※ 研修をR3年度に開始したため現状値(R元)を「-」とする	—	2回
要介護等認定率	介護予防等の取 組みの強化によ る認定率の上昇 抑制を図る	14.1%	15.1%	15.5%	16.4%	105.8%	A	・ 地域高齢者支援センターの機能強化 ・ 在宅医療・介護連携等の充実 ・ 安全・安心に暮らすための生活支援サービスの充実	—	17.0%
認知症サポーター養成者数	地域・職場・学校等に向けた「認知症への理解を深める普及啓発」によって、市民全体で認知症の人とその家族を支える基盤づくりを目指す	13,250人	16,023人	16,787人	22,000人	76.3%	B	・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ 認知症キャラバンメイトとの定例会の開催	—	24,000人

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
住民主体の通いの場への高齢者の参加者数	介護予防に資するサロン活動や体操を継続的に行う住民の通いの場の充実を図る	4,892人	5,668人	8,714人	5,150人	169.2%	A	- 地域の通いの場の活動支援 - 出前講座による外部講師の派遣 - 直堂の通いの場(いきがい型デイサービス、うぐいす体操会等)の運営支援	—	5,200人

基本目標 1 健康で安心して暮らせるプロジェクト | **災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進**

市民の生命や財産を守り、安全・安心な暮らしを実現させるため、市民、事業者、行政が一体となった地域力や都市の安全性を強化する取組を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 **▶ やや遅れています。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
防災訓練等の参加者数 ※1_ R6.3目標値変更	地域防災体制の整備・強化のための防災訓練等の実施	— (3,749人 ※2)	36,568人	2,914人	35,000人	8.3%	D	・ 地域での防災講和や幼稚園・小学校等での防災教育の実施 ※2 現状値(R元)には総合防災訓練の参加者を含まない	令和6年度は台風10号の影響により総合防災訓練が中止になったため。	36,000人
木造住宅の耐震相談会の開催回数(年間)	木造住宅の耐震改修促進のための相談会の実施	12回	10回	11回	11回	100.0%	A	・ 木造住宅の耐震改修促進のための相談会の実施	—	12回
管理不全空家の状態が改善された割合	防災、衛生、景観等において周辺的生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある管理不全空家の防止解消に向けた対応を図る	60.0%	72.8%	63.4%	68.0%	93.2%	B	・ 「空家等の適正管理に関する条例」の施行、運用 ・ 空家法に基づく所有者不明危険空家の略式代執行の実施	—	70.0%

※1 R4実績が目標を大きく上回ったことにより、R5以降目標値を再設定。【R5目標値】15,000人⇒34,000人、【R6目標値】15,500人⇒35,000人、【R7目標値】16,000人⇒36,000人

市による達成状況の総括

概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)17項目のうち、A評価(8項目)及びB評価(6項目)の合計は、14項目(約82%)でした。

「人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進」及び「生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進」では、A評価及びB評価の合計が100%となっており、「週1回30分以上スポーツ・レクリエーション活動する市民」の割合や「住民主体の通いの場への高齢者の参加者数」が目標値を大きく上回るなど、施策は概ね順調に進んでいます。

一方、「水とみどりを育む取組みの推進」のうち「水源の森林エリアにおける森林整備(奥山を除く)面積」及び「植樹祭、下草刈、県民参加の森林づくりなど森林整備事業への市民参加数」は、D評価及びC評価となっており、森林整備に係る事業に課題が生じていることから、事業内容や周知方法等の必要な見直しを行ったうえで、自然環境の保全に向けた取組を推進します。

外部評価

市による達成状況の総括は妥当です

- ❑ 秦野市にとって、森林は非常に重要な資源です。森林整備事業の進捗及び参加者数に課題が表れているため、事業の進捗については、課題を分析の上で改善に向けた取組を進め、事業の参加者数については、目標の達成に向けた事業の実施方法等の検討や効果的な広報等により、新規を含む参加者の確保に努めることが必要です。
- ❑ 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進では、「週1回30分以上スポーツ・レクリエーション活動する市民」の割合が前年度と比較して大幅に向上している点を評価します。
- ❑ 近年激甚化する大規模自然災害に対応するため、引き続き、災害に強いふるさとづくりの推進への取組が望まれます。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取組により、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 合計特殊出生率	1.12(H30)	▶	1.43
.....			
■ 全国学力・学習状況調査等における集計値 (平均正答率)	60.2%(全国63.8%)	▶	全国平均以上
.....			
■ 全国学力・学習状況調査等における集計値 (学習意欲)	60.4%	▶	68.0%
.....			
■ 全国学力・学習状況調査等における集計値 (非認知能力)	71.2%	▶	81.0%

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト | 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進

周産期医療及び保健体制の整備・充実などにより、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **概ね順調に進んでいます。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合(3歳6か月児健康診査時調査)	妊娠期から子育て期までの相談体制を整備し、親子の多様性に応じた継続支援の充実を図る	66.1%	71.6%	67.1%	72.5%	92.6%	B	・産後ケアの拡充・周知 ・市内及び近隣の産科医療機関と連携した妊産婦支援の充実	—	75.0%
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合(1歳6か月児健康診査時調査)	少子化・核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化による妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきている中での切れ目ないきめ細やかな支援を実施する	86.4%	83.2%	80.3%	87.0%	92.3%	B	・月齢に応じた発育・発達の確認や育児情報の提供 ・健診等の場を生かした切れ目のない支援	—	87.5%

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト | 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進

結婚から育児までの切れ目のない支援により、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ 概ね順調に進んでいます。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
定員超過により 保育所等に入所 できない児童の 数 (4月1日時点)	仕事と子育てを 両立し、安心し て子育てができ る環境づくりに より待機児童の 解消を目指す	9人	0人	0人	0人	100.0%	A	・保育士確保策として就労促 進給付金の交付 ・公立こども園の改修及び民 間保育所等への施設整備補 助	—	0人
地域子育て支援 拠点事業の箇所 数	新たな地域子育 て支援拠点を増 やし、子育て支 援の充実を図る	8箇所	10箇所	10箇所	9箇所	111.1%	A	・子育てアドバイザーに子育て に関する不安や悩みを相談 できる場の提供	—	9箇所
特に児童虐待の リスクが高い要 保護児童に対す る個別ケース検 討会議の開催割 合	児童虐待の発生 予防と早期発 見・早期対応を 目指した個別 ケース検討会議 を開催する	80.0%	85.0%	71.8%	95.0%	75.6%	B	・多様な機関との連携強化 ・一体的支援に向けた合同 ケース会議の開催	—	100%
ひとり親家庭等 の保護者の資格 取得後の就職状 況	ひとり親家庭の 保護者の就業や 就職活動を側面 から支援し、早 期自立を目指す	100.0%	89.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	・母子・父子自立支援員による 給付金支給後の就職状況の 確認 ・就労に向けた定期的なフォ ロワーの実施	—	100%

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト | 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進

子どもたちの新たな学びのスタイルを構築するとともに、次世代の教育を見据えた環境整備により、「はだのっ子」の確かな学力向上に向けた取組を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ 概ね順調に進んでいます。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
保護者アンケートにおいて、園 小中一貫教育が 推進されている と回答した人の 割合	園小中一貫教育 を推進し、教育 水準の改善向上 のエビデンスと するため、学び の連続性を実感 できる体制づく りを推進する	67.0%	77.4%	83.2%	74.5%	111.7%	A	・教育研究所(はだのE-Lab) への乳幼児教育センターの 設置 ・公私園種を問わない園小中 接続強化のための育ちと学 びの架け橋会議の開催 ・義務教育学校研究モデル校 (東・北・大根中学校区)によ る研究の推進	—	77.0%
学校運営協議会 の設置校数	地域とともにあ る学校づくりに 向けた学校運営 協議会の設置に よりコミュニ ティ・スクールを 推進する	7校	18校	18校	22校	81.8%	B	・コミュニティスクールディレ クターの配置及び地域での 講演会等の開催 ・地域学校協働本部との適切 な連携の在り方についての 研究・実践 ・地域住民の教育活動への参 加・支援体制の構築	—	22校
授業でICTを効 果的に活用でき ていると回答し た教職員の割合 (文科省調査)	学校における働 き方改革を含め、 教職員がICTの 効果的な活用を 実感できる体制 づくりを推進す る	74.4%	80.9%	86.7%	95.0%	91.3%	B	・授業支援アプリやAIを搭載 した学習ドリルアプリの継続 ・ICT支援員による学校巡回 支援の実施 ・ICTマイスター制度をアッ プデートしたグローバルリー ダーによるCBT(コンピュー ターを使った試験)の作問の 各校における実証	—	100%

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト | 市民総ぐるみによる学校給食の推進

中学校給食の完全実施を契機とし、商業・農畜産業などの地場産業との連携による地産地消や地域に根差した食育の推進により、市民総ぐるみの学校給食を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **概ね順調に進んでいます。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
学校給食食材における秦野産野菜の使用割合	対象品目において秦野産野菜の年間総使用量割合の向上を目指す	37.2%	34.7%	29.1%	—(※)	—	—	・ふるさと秦野食育DAY及びかながわ産品デーによる秦野産野菜の使用 ・地域生産者組合の出前授業の実施 ・特産品の収穫体験及び特産品を使用した給食提供	台風等の天候不良により地場産物が不作となったため。 ※ 中間値(R5)及び最終値(R7)のみの目標設定としているためR6は評価対象外。	50.0%
地産地消応援サポーター登録店舗数	消費、流通、販売面から地産地消推進に参画する登録店舗数の増加を目指す	47店	49店	48店	54店	88.9%	B	・「はだの農産物応援サポーター店」PRのための店内表示看板を作成・配布	—	55店

市による達成状況の総括 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)10項目のうち、A評価(4項目)及びB評価(6項目)の合計は、10項目(100%)でした。

施策は概ね順調に進んでおり、特に「定員超過により保育所等に入所できない児童の数」が0(ゼロ)人を継続して達成するなど、取組の成果が表れている事業が多くあるため、引き続き、切れ目のない支援に努めます。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- すべての重要業績評価指標(KPI)が概ね順調に進んでいることを評価します。
- 一方、当初値(R元)や前年と比較して実績値が下がっている項目があるため、その原因を分析し、改善に向けた取組を進めることが必要です。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるにぎわい創造に取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 4駅の乗降客数の合計(1日平均)	123,058人	▶	123,000人
.....			
■ 定住意向 (住み続けたい、どちらかと言えば住み続けたいと考えている市民の割合)	79.3%(R2)	▶	95.0%

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト | 温泉を生かしたにぎわい創造の推進

大山と鶴巻温泉駅を結ぶバスの運行など、自治会、商店会等と連携し、温泉地としての魅力を生かした駅周辺のにぎわいづくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **順調に進んでいます。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
鶴巻温泉年間観光客数	弘法山公園の観光資源としての価値を最大限引き出し、東海大学前駅、秦野駅周辺を含めた地域活性化に向けた魅力あるまちづくりを目指す	173,950人	183,788人	195,142人	180,977人	107.8%	A	・大山～鶴巻温泉駅間のバス 季節運行の期間拡大 ・デジタルスタンプラリーの実施 ・YouTube動画を活用した 広報宣伝の実施	—	180,977人
弘法の里湯年間利用者数	鶴巻温泉街の観光振興と地域活性化を図る	147,243人	174,330人	179,036人	153,191人	116.9%	A	・大手温泉情報サイトを活用した 広報宣伝 ・地域が取り組むジビエ振興 との連携	—	153,191人

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト | 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進

駅利用者の利便性や安全性を高めるとともに、大学等と連携し、多くの学生が集まる駅という特色を生かしたにぎわいづくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **やや遅れています。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
学生と連携した 商店街イベント の参加者数	商店街と学生が 連携したイベン トの実施による にぎわい創造を 推進する	7,000人	3,600人	6,000人	7,525人	79.7%	B	・ 東海大学駅前商店会協同組 合及び東海大学湘南学生会 によるおおね秋まつりの開 催	—	7,700人
東海大学前駅の 乗降者数(1日平 均)	東海大学前駅周 辺のにぎわい創 造による乗降者 数の増加を図る	38,909人	35,209人	36,215人	38,000人	95.3%	B	・ 駅周辺のにぎわい創造に向 けた「4駅にぎわい創造検討 懇話会(東海大学前駅)」の 開催	—	38,000人
商店街区域内の 新規開業店舗数 (商店街空き店 舗活用事業補助 金活用店舗数) ※ R5.3指標追加	空き店舗を活用 した新規開業を 促し、商店街の 活性化を図る	9件	4件	1件	5件	20.0%	D	・ 市内の商店街にある空き店 舗を活用して新たに事業を 行う者に対する支援	新たに宅建協会にチラ シを配布して周知を図 り、5件の申込があった ものの、地域活性化へ の貢献等を要件を満た した申請が1件であった。	5件

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト | 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進

良好な市街地形成に加え、まちの中心として発展した歴史や湧水、文化、桜並木などの地域資源を生かしたにぎわいづくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ やや遅れています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
震生湖年間観光 客数 ※1 R6.3目標値変更	震生湖の魅力を磨 き上げ、秦野駅か らのハイカー等を 増加させることで 駅周辺のにぎわい につなげる	39,089人	54,450人	43,482人	62,500人	69.6%	C	・老朽化が進む太鼓橋架替工 事を開始 ・散策道の柵の補修 ・危険樹木の伐採	太鼓橋架替工事によ り、駐車場や散策可能 エリアが制限され、来 訪者数が減少したた め。	64,300人
弘法山公園年間 観光客数 ※2 R6.3目標値変更	秦野駅と鶴巻温泉 駅、東海大学前駅 を結ぶ周遊観光拠 点として、世代を 問わず低山登山や ハイキングを楽し めるよう、桜や展 望台、ハイキング コースなど観光資 源の適正な維持管 理や、弘法山周辺 の活性化に資する 取組を推進する	344,382人	501,356人	500,521人	523,900人	95.5%	B	・「弘法山公園利活用方針」の 策定 ・YouTube動画を活用した 広報宣伝の実施 ・ニーズ調査を目的とした弘 法山マルシェの開催	—	539,600人

※1 R4実績が目標を大きく上回ったことにより、R5以降目標値を再設定。【R5目標値】39,089人⇒60,700人、【R6目標値】40,668人⇒62,500人、【R7目標値】40,668人⇒64,300人

※2 R4実績が目標を大きく上回ったことにより、R5以降目標値を再設定。【R5目標値】344,382人⇒508,700人、【R6目標値】358,295人⇒523,900人、【R7目標値】358,295人⇒539,600人

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
名水はだの富士 見の湯年間来訪 者数 ※ R6.3目標値変更	弘法山公園の観光 資源としての価値 を最大限引き出し、 東海大学前駅、秦 野駅周辺を含めた 地域活性化に向け た魅力あるまちづ くりを目指す	76,403人	156,795人	164,837人	117,800人	139.9%	A	・ 大手温泉情報サイトを活用し た広報宣伝 ・ 電子チケットの事前販売を 開始 ・ 男性サウナ室のリニューアル	—	121,300人

※ R4実績が目標を大きく上回ったことにより、R5以降目標値を再設定。【R5目標値】76,403人⇒114,400人、【R6目標値】79,489人⇒117,800人、【R7目標値】79,489人⇒121,300人

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト | 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進

表丹沢や渋沢丘陵への玄関口として多くの登山者やハイカーが訪れるため、商店会や関係団体と連携し、まちの魅力発信とにぎわいづくりを推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ 概ね順調に進んでいます。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
頭高山年間来訪者数	にぎわいの創造につなげるため、ハイカーや観光客が快適に過ごせるようハイキングコースなど観光資源の整備や維持管理に努める	7,684人	6,634人	9,677人	7,994人	121.1%	A	・令和6年3月に整備した散策道や山頂広場等の維持管理 ・八重桜の名所としての広報宣伝	—	7,994人
大倉地区年間観光客数	表丹沢魅力づくり構想のもと、表丹沢において気軽に山歩きが体験できる環境整備を進め誘客促進を図る	332,165人	427,882人	310,809人	338,808人	91.7%	B	・大倉高原テントサイトの管理運営 ・戸川公園レストハウス運営者によるアウトドアイベントの実施	—	345,584人
秦野丹沢まつり来訪者数	「山に親しむことができる祭り」として山開き式やイベントを実施する	56,000人	54,000人	55,400人	58,262人	95.1%	B	・山開き式及び集中登山の実施 ・山開きボルダリング2024の開催 ・山開き体験クライミングの実施	—	58,262人

市による達成状況の総括 **概ね順調に進んでいる**

重要業績評価指標(KPI)11項目のうち、A評価(4事業)及びB評価(5事業)の合計は、9事業(約82%)でした。

施策は概ね順調に進んでいますが、「商店街区域内の新規開業店舗数(商店街空き店舗活用事業補助金活用店舗数)」では目標値を大きく下回っているため、引き続き、事業の周知を図ることで空き店舗の活用を促し、各駅周辺のにぎわい創造につながる取組を推進します。

外部評価 **市による達成状況の総括は妥当です**

- 「鶴巻温泉年間観光客数」や「弘法の里湯年間利用者数」など、鶴巻温泉駅周辺で目標値を超える観光客を呼びこむことができていることを評価します。この成果を、秦野市の魅力である豊かな自然を生かした施策との連携につなげ、相乗効果を生み出す施策の展開を期待します。
- 「商店街区域内の新規開業店舗数(商店街空き店舗活用事業補助金活用店舗数)」では、目標値を大きく下回っているため、その課題を分析するとともに、他自治体の先進事例を研究するなど、商店街のにぎわいづくりに向けた新たな取組を期待します。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組んでいます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
 年間観光客数	4,472,000人		4,652,000人
.....			
 観光客の年間消費額	59億1,800万円		61億5,700万円

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト | 表丹沢魅力づくり構想の推進

表丹沢における農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、広範な分野の地域資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やし、本物の魅力を見つけ出せる表丹沢とすることにより、交流人口の増加と地域活性化を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ やや遅れています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
表丹沢の魅力発信WEBサイトへの年間アクセス件数 ※1 R6.3指標変更	表丹沢の観光スポット等の情報発信するWEBサイトの運営	65,797件	163,575件	197,934件	120,000件	164.9%	A	・表丹沢ツーリズム(イベント)の情報発信 ・SNSを活用したキャンペーンの実施	—	130,000件
表丹沢野外活動センター年間利用者数	青少年の育成活動や里地里山保全活動を中心とした利用のほか、更なる活用を促進する	11,266人	11,870人	13,079人	16,000人	81.7%	B	・特設ホームページの開設による情報発信の強化 ・野外活動センターフェスティバルの開催	—	17,000人
ヤビツ峠レストハウス年間利用者数	森林、里地里山、観光の連携事業を展開するための拠点施設として、交流人口の増加と市内消費を生み出し、地域所得の向上や観光振興、アウトドア活動やグリーンツーリズムが盛んな地域イメージの確立を図る	— ※2	13,208人	11,793人	18,987人	62.1%	C	・運営者によるアウトドアイベントの実施 ・丹沢日和NATURE ACTIVITY BASEと連携した広報宣伝 ・ヤビツ峠・二ノ塔・三ノ塔バッジの販売を開始 ※2 R3年に開設したため現状値(R元)を「-」とする	・悪天候により、唯一のアクセス道路である県道70号の通行止めが相次ぎ、利用者数が落ち込んだため。	18,987人

※1「山旅」に関する情報を発信していた地域情報サイト「レアリア」のアクセス件数から、令和4年8月に公開を開始した表丹沢総合ホームページ『OMOTAN』のアクセス数に変更

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト | 地域特性を生かした企業誘致の推進

新東名高速道路等のネットワークや地域特性を生かした新たな雇用の創出につながる周辺への企業誘致を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **遅れています。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
新規立地及び施設再整備企業数 (企業誘致条例 の優遇措置適用 企業数)(年間)	本市の地域特性 を生かした企業誘 致及び市内既存 企業の施設再整 備を図る	3社	2社	1社	2社	50.0%	C	・ 商工会議所と連携した制度 の周知 ・ 立地フェアへの参加	・ 2社から申請相談が あったが、そのうち1 社の申請が見送られ たため。	2社

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト | 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進

スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性を高めるなど、新東名高速道路開通に伴う新たな人の流れを支えるネットワーク形成を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **概ね順調に進んでいます。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
構想路線(都市 計画道路 菩提 横野線(1期区 間)の整備進捗 状況 ※ R6.3目標値変更	新東名高速道路 の供用開始に伴 い、SICから中心 市街地へのアクセ ス性を高める	0.0%	8.1%	15.6%	20.0%	78.0%	B	・事業用地の取得及び物件補償 ・街路築造工事の執行	—	55.0%

※ 事業計画の変更により、新たな事業計画に基づきR5以降目標値を再設定。【R5目標値】85.0%⇒10.0%、【R6目標値】100.0%⇒25.0%、【R7目標値】100.0%⇒55.0%

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト | 国道246バイパス（厚木秦野道路）早期全線事業化・整備の促進

県、周辺自治体と連携し、国道246号バイパスの建設促進や未事業化区間の早期事業化を促進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ 順調に進んでいます。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
早期全線事業 化・整備の促進 に係る要望回数	246号バイパス の建設促進や未 事業化区間の早 期事業化に向け た国県等への要 望を行う	4回	4回	4回	4回	100%	A	・ 国道246号バイパス建設促進協議会による要望(夏季・秋季) ・ 県の施策、予算、制度等に対する要望 ・ 市長会(県・全国)による要望	—	4回

市による達成状況の総括 やや遅れている

重要業績評価指標(KPI)6項目のうち、A評価(2事業)及びB評価(2事業)の合計は、4事業(約67%)でした。
また、「ヤビツ峠レストハウス年間利用者数」では、天候による影響を受けたという理由はあるものの、利用者数が前年度から減少している状況にあるため、効果的な広報宣伝や魅力的なイベント等を積極的に行い、新規利用者の獲得に向けた取組を推進します。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- ❑ 「ヤビツ峠レストハウス年間利用者数」の達成状況に引き続き遅れが生じています。目標とする利用者数と実績との乖離の要因に係る分析と対策の検討が必要です。
- ❑ 企業の新規立地及び施設再整備への支援制度については、継続して遅れが生じている原因を分析するとともに、より効果的な周知方法を検討して実施するなど、目標の達成に向けた取組の推進が必要です。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

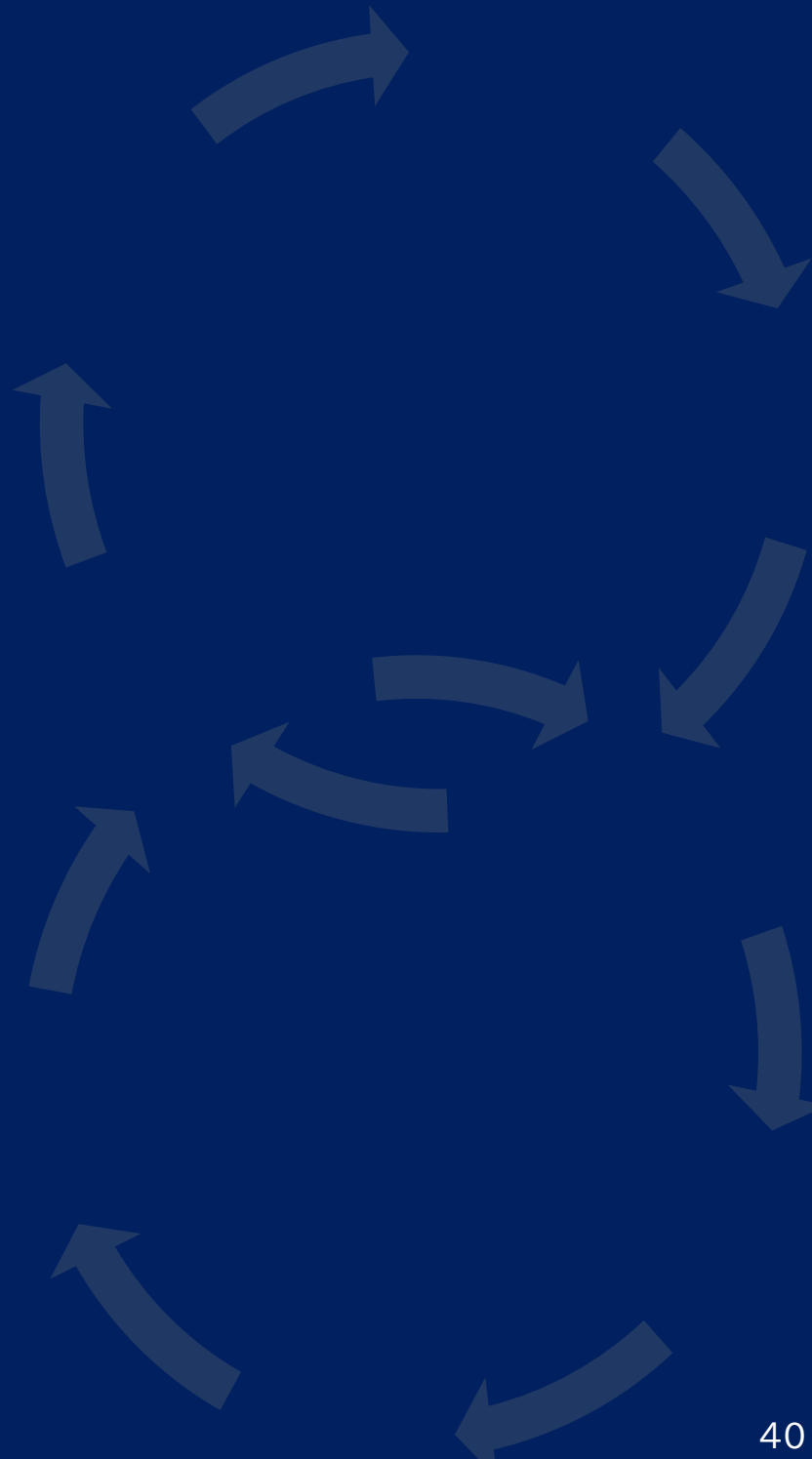
基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括



新型コロナウイルスの収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3本柱での対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、新たな日常の創造に取り組めます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 標準財政規模に対する実質収支と財政調整基金現在高の割合(適正な実質収支比率及び財政調整基金現在高比率の確保)	14.2%	▶	15.0%
.....			
■ 各種手続のオンライン化率	34.0%	▶	100.0%

感染症から市民の健康を守るとともに、新たな日常における日々の暮らしや地域経済を守る施策を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ **順調に進んでいます。**

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
工業統計調査における、従業員4人以上の事業所の1年間の製造品出荷額等	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえ、平成25年度現状値と同額以上を目指す	4,402億円	4,635億円 (R4年実績)	4,647億円 (R5年実績)	4,402億円	105.6%	A	- 新規立地及び施設再整備に対する奨励措置を拡大 - 設備投資への金融支援や経営力・技術力強化に対する人材育成支援 - 利子補給を拡充支援するとともに信用保証料を補助	—	4,402億円

あらゆる市役所業務でのICTの積極的活用により、スマート自治体への転換やデジタル化を推進しています。

基本的方向に係る
達成状況の総括 ▶ 概ね順調に進んでいます。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
市ホームページへの年間アクセス件数 ※1 R6.3目標値変更	市民との情報共有や市のPRを図るため、閲覧性や検索性の向上と魅力的な内容の充実を図ることによるアクセス数の増加を目指す	797万件	938万件	820万件	930万件	88.2%	B	・市制施行70周年記念事業特設ページの開設 ・ブランディングエリアの充実	—	950万件
ICTの活用により削減された職員の事務作業時間(累計)	定型的な業務に対して、業務プロセスの効率化、非効率な業務時間の短縮等によるコスト削減などを目的に、RPAによる業務自動化を導入する	— ※	3,113時間	6,634時間	5,250時間	126.4%	A	・学校開放施設の貸出に係る電子錠システムへの予約情報登録業務の自動化 ・インフルエンザの予診票情報の管理システムへの登録業務の自動化 ※ R2年にRPAの運用を開始したため現状値(R元)を「-」とする	—	7,350時間
LINE友だち登録数 ※2 R6.3目標値変更	防災情報や感染症関連情報イベント情報など、緊急情報や暮らしに役立つ情報を発信し、市民の情報取得の利便性向上を図る	— ※	24,213人	29,926人	25,500人	117.4%	A	・導入の趣旨に沿った運用による迅速な情報提供の実施 ・毎週金曜日のトピックス配信 ※ R2年に開設したため現状値(R元)を「-」とする	—	26,000人

※1 R4実績が最終目標を大きく上回ったことにより、R6以降目標値を再設定。【R6目標値】828万件⇒930万件、【R7目標値】845万件⇒950万件

※2 R4実績が最終目標を大きく上回ったことにより、R5以降目標値を再設定。【R5目標値】17,000人⇒24,000人、【R6目標値】19,000人⇒25,500人、【R7目標値】21,000人⇒26,000人

市による達成状況の総括 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)4項目のうち、A評価(3事業)及びB評価(1事業)の合計は、4事業(100%)でした。
施策は概ね順調に進んでいます。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- すべての重要業績評価指標(KPI)が概ね順調に進んでいることを評価します。
- 引き続き、LINE等のSNSによる情報発信を行うとともに、制度の趣旨や背景など、充実した情報を掲載できるホームページとの連携を推進することで、より効果的に、また、正確かつ詳細な情報が市民等に伝わる仕組みづくりを期待します。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

本市に多くの人の流れを呼び込むことが期待される基本目標3と基本目標4を組織横断的に進め、「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「関係人口」を創出・拡大させることにより、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)



重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	R5実績値	R6実績値 (A)	R6目標値 (B)	R6達成率 (A)／(B)	達成 状況	R6主な取組事業等	R6の取組が遅れて いる場合、その理由等	最終目標値 (R7)
住宅施策を活用 した年間移住世 帯数	若年世帯等への 住宅購入補助、既 存施策と連携した 移住・定住希望者 への積極的な情 報提供等により、 人口減少の抑制 を図る	4世帯 ※	199世帯	157世帯	115世帯	136.5%	A	・はだの丹沢ライフ応援事業 の周知、運用 ・ミライエ秦野の入居者募集、 運用 ・空家バンクの運用 ※ R4から住宅取得に対する 助成金制度を新たに開始し ているため、R元に当該事 業の実績等が含まれない	—	125世帯

市による達成状況の総括 順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)1項目の令和6年度の実績は目標を大きく上回っており、施策は順調に進んでいます。

外部評価 市による達成状況の総括は妥当です

- 令和4年度から開始した新たな住宅施策による効果が表れていることを高く評価します。
- 移住・定住の活性化に向け、秦野市の魅力を市内外に効果的に発信することが重要です。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

5. 外部評価の総括

5つの基本目標と1つの横断プロジェクトの達成状況に対する市の総括は妥当であり、特に、人口の社会増を目的とした「移住・定住活性化」や「未来を拓く子育て・教育プロジェクト」、また、「小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト」のうち、「温泉を生かしたにぎわい創造の推進」に関する指標が良好に推移していることを評価します。

目標値を超える観光客を呼びこむことができている鶴巻温泉駅周辺では、この成果を、秦野市の豊かな自然を生かした施策との連携につなげ、相乗効果を生み出す施策展開を期待します。

一方、目標に対して遅れが見られる、「健康で安心して暮らせるプロジェクト」のうち、「水とみどりを育む取組みの推進」、また、「新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト」のうち、「地域特性を生かした企業誘致の推進」では、事業の進捗に遅れが生じているため、課題を分析した上で必要な見直しを行い、目標の達成に向けた取組を推進することが望まれます。

重要業績評価指標(KPI)は、施策の進ちょく状況を客観的に評価し、本来の目的や最終的な目標(KGI)の達成に向けて進行管理を行うためのツールです。そのため、各施策の成果がKGIの達成に寄与しているかなど、KGIとKPIの関係性を常に意識し、毎年度の効果検証を踏まえたKPIの見直しなどを行いながら、KGIの達成に向けた適切な目標設定と進行管理に継続的に取り組むことが重要です。

また、令和8年度からスタートする次期総合戦略では、総合計画後期基本計画のリーディングプロジェクトに位置づける地域幸福度(ウェルビーイング)指標を踏まえた評価の体系について検討されることを期待します。

当調査会の指摘を参考とし、今後も第2期総合戦略及び総合計画前期基本計画に掲げた基本目標(リーディングプロジェクト)の達成と、目指す都市像「水とみどりに育まれ 誰もが輝く暮らしよい都市(まち)」の実現に向けた施策の着実な推進に取り組まれることを期待します。